

## 実践3 「見て一電車だよ！」

**概要** ラティスの影を見つけた2歳児の子どもたちが、その面白さ、不思議さを感じ、よく観たり見立てたり比べたり、楽しい遊びに展開する姿から、『科学する心』が動く過程がみえる実践です。

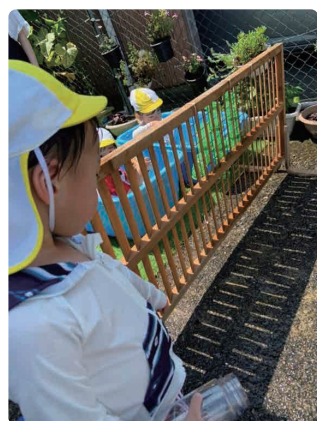
**ポイント** 大人が、柵として置いておいたものも、子どもにとっては、大発見につながる環境です。日常の見逃しがちな姿を、保育者が、一つ一つ子どもの思いに寄り添った共感をしていくことの大切さが伝わってきます。このような、子どもたちが環境に主体的に関わり、心を動かしていく日常の体験の積み重ねが、「科学する心」の育ちにつながっています。周りにいる友達や保育者との共感・共有が、さらに子どもの心を動かしています。

### 企業主導型保育所 保育園にじのおうち

2歳児

・園舎横の屋根付きテラスは砂遊びや水遊びなど戸外遊びの場所として保育の中で使用している。生活道路に面しているため、安全対策として、このテラスで遊ぶ時は柵（ラティス）を置いて子どもたちが道路へ飛び出して危険に遭うことのないようにしている。

この日も、プールあそびの横に安全用柵（ラティス）を置いていた。



・「見てー！ 見てー！ 電車だよー！！」（“おもしろい”）

Aさんの声に驚いて振り向くと、**地面にできたラティスの影を指さして一生懸命に「電車ー！！」**と知らせている。偶然に見つけた柵の影は見たことがある「電車（の線路）」にそっくり。普段はなかなか自分の思いを言葉にして伝えることが少ないAさんが、今、見つけた“おもしろい”をみんなに伝えたくて大きな声で知らせている。

・「電車に乗って、どこかにお出かけですかー？」…Aさんの生き生きとした表情に保育者も嬉しくなって、そう言葉をかけると、

「おかいもん（お買い物）おかいもん！」

「ラーメン、買いに行くのー」

・**地面にできた「線路」の上を確かめるようにゆっくり進みながら嬉しそうに答えてくれたAさん。そんなAさんの言葉を聞いた他の子どもたちも集まって来て…。**



「電車、電車乗るーっ」

Cさん：「どこに電車 あるん？」

Aさん：「どこにお買い物行くのー？」

Bさん：「Bも、電車したいーっ」

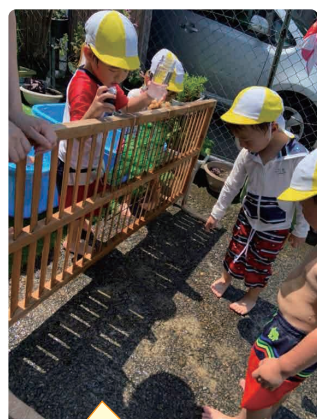
Aさんに教えてもらった子どもたちは、

Bさん：「ほんまや、電車や！ Bものー」

Cさん「ねーねー見てー！ 電車よー」違う場所にいた保育者にも知らせるCさん。



地面に映ったラティスの影の模様が、まるで“電車（の線路）”のように見えたA児の**“おもしろい”**。そんなA児の**“おもしろい”**が他の子どもたちにも広がり、「電車遊び」に発展していく。友達が見つけた“いいこと”（おもしろい）を一緒にやりたい、同じ遊びを楽しみたい…そんな2歳児らしい姿が見て取れる。



「見て、電車だよ」



ゴシゴシするのよ

・「ねーねー 電車よー！」と自分ごとのように喜んだCさんの持っていたペットボトルから水が

“電車”（線路）の上にこぼれてしまった。

・その様子を見たDさんが、**持っていたカップでゴシゴシと“電車”（線路）を洗い出した！**

・Dさんがゴシゴシと“電車”（線路）を洗い出したのを見たCさん、Eさんが**「お水、持って来たよー！」**とどんどん水を運んでくる。



- ・最初はCさんが**こぼした水を拭くつもりだったと予想されるDさんの行動から他の子どもたちも遊びに加わり「電車洗い」になった。**



- ・すると、何か気になるのか、Bさんが**もう一つある柵の周りをぐるぐると歩き始めた。**  
**「ないなー…」「電車ないやん…」**(“不思議”という“おもしろい”の出会い)。その言葉に、周りの子どもたちも集まってきた。  
**みんなでしばらくキョロキョロと柵の周辺を探すけど、どこにも“でんしゃ”が見当たらない。**  
**「Aさーん(担当保育者)、(こっちは)電車 ないよー」とBさん。**  
**「どこにあるん？」とCさん。**
- ・子どもたちの**「なんで、電車がいないの？」**(“不思議”という**“おもしろい”**)の声に、このラティスを少し、日の当たる場所にずらしてみた。



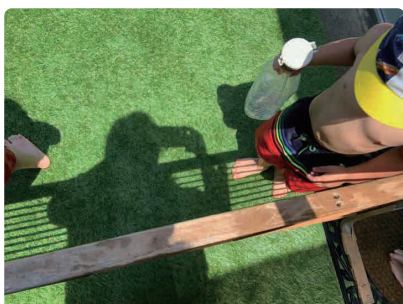
柵の周囲で、上や下をのぞき込んで**“電車”を探す2歳児の子どもたち。**A児の“おもしろい”から始まったみんなの**「電車遊び」**。日の当たる場所ではしか現れない**「影」**が作り出すこの**“不思議”**に、子どもたちの**“おもしろい”**は**どんどん膨らんでいく。**

すると…

Cさん・Bさん**「あーっ！ 電車 出て来たー !!」**  
Aさん：**「出て来たー！」**(“おもしろい”)手足で確かめながら  
Cさん**「あったやーん」**  
Bさん**「乗ろうよー」**



- ・できた“電車”(影)に大喜びしていたが、**ふと、影の形に目をやったCさんが、“あれ？”という顔をして「さっきと違うで！」**(“おもしろい”)  
Bさんも**「ほんまや。電車違う！」**



- ・しばらく**“影”**を見つめていたCさん。**「これ、焼くやつやん！」**  
**「バーベキューでお肉とかを焼いたりする、あの“焼くやつ” !？」**
- ・Cさんの言葉を受けて保育者が問うと、**「そう！ C、なんか焼くわ！」**と焼く動作を始める。

**【考察】** ラティスの影を見つけ、「電車(線路)」に見立てて遊び始めた子どもたち。日陰にある柵には“影”がないことに気づく。保育者が日の当たる方へ少し動かすことで現れた新たな“影”。それはまた形の違うものだった。その“形”からイメージを膨らませ、家で経験して知っている**「バーベキューの網」**に見立てて新たな遊びが続いていく。  
**「なんで？」「これなに？」**と周りの世界の出来事にさらに心が動き自分で確かめようとしたり、**「さっきと違う！」**と比べて見たりする力も育ってきたと感じる2歳児らしい姿だった。